

令和2年度事業報告書

特定非営利活動法人マザーリーフ

I. 事業実施の概略

特定非営利活動法人マザーリーフは、乳児から高齢者までの全ての世代に対して、子育て支援・引きこもり支援・高齢者支援・心を豊かにする心理学講座など、各世代間の悩み、苦しみ、不安を分かち合いながら、健全な人間関係の育成、支援、理解を、実践を通して学びあうための事業を行い、一人ひとりが地域社会の大切な、かけがえのない存在として成熟しあい、生きる知恵を持つ老賢者が増し、豊かな人間関係を築ける地域社会づくりを実現するために、本法人の定款第5条に定める次のような事業を実施した。

(1) ボランティア養成講座事業

* 託児ボランティア養成講座 * 傾聴ボランティア養成講座

(2) 高齢者生きがい講座事業

* 施設訪問サロン

(3) 結婚講座事業

* 結婚スタッフ講座 * 結婚交流セミナー

(4) 心理学勉強会（人間学）事業

* 絵本研究グループ（岡山刑務所社会性涵養講座） * コラージュ心理講座

* 令和2年度赤い羽根ボランティア団体・NPO活動支援事業「内観リカバリー研究会」事業

* 2020年度公益信託おかやま心の福祉基金助成金事業

(5) 親子等体験学習事業

* 理科大好き養成講座

* 令和2年度子どもゆめ基金助成事業「個性交流みんながリーダーだ!!」事業

(6) 芸術・文化表現事業

* 人形劇演劇活動

(7) 傾聴有償サービス事業

* 訪問傾聴

(8) ふれあいの場づくり事業

* 交流スペース提供 * イベント企画・サポート

尚、定款第5条（1）ボランティア養成講座事業（3）結婚講座事業（6）芸術・文化表現事業（8）ふれあいの場づくり事業は、実施しなかった。

II. 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係わる事業

A) 高齢者生きがい講座事業 施設訪問サロン事業

①事業目的

高齢者施設でのレクリエーションとして、施設利用者の方々に、世代を超えた人との会話・ふれあい・コミュニケーションの機会をより多く持っていただくことで、心身が安定することを目的とする。

②事業内容

令和2年8月～令和3年1月

岡山市内下記施設に、毎月訪問サロン活動を行う。

株式会社ベネッセスタイルケア「こちち」：毎月1回、1時間訪問

③事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容	実施日時	1回の発着者人数	1回の受益対象者範囲及び人数
(2) 高齢者生きがい講座事業	身体表現、懐かしの歌(長崎の鐘、足影のワルツ、炭坑節等)	8月21日	1名	入居者 25名
(2) 高齢者生きがい講座事業	身体表現、月の歌(十五夜お月さん、月、君の名は等)	9月21日	1名	入居者 26名
(2) 高齢者生きがい講座事業	回想(おんぶの思い出)、季節の歌(里の秋、野菊、ふるさと)	10月31日	1名	入居者 25名
(2) 高齢者生きがい講座事業	古関裕而作品特集～栄冠は君に輝く、長崎の鐘等	11月16日	1名	入居者 21名
(2) 高齢者生きがい講座事業	発声法、グーパー運動、唱歌(たきび、カチューシャの唄等)	12月21日	1名	入居者 20名
(2) 高齢者生きがい講座事業	呼吸・発声法・冬の唱歌(ゆき、たきび、高原列車は行く等)	1月18日	1名	入居者 24名

A) 事業費合計 ￥18,000

④事業成果

令和2年3月より、新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、施設管理者から担当者に対し、終息するまでは、訪問サロン(レクリエーション)を休止とする旨の連絡があり、今年度8月から6か月ぶりに1施設のみ訪問することが可能となった。ソーシャルディスタンスを取り、マウスシールド等を使用し、十分に新型コロナウイルス感染拡大予防対策をはかった上で行った。参加者の方が定期的なサロンの継続を心待ちにし、歌と会話を楽しむ時間を必要としていることが、声や表情から伝わってきた。今年度は、NHK朝の連続テレビ小説「エール!」がテレビ放映されていたこともあり、ドラマのモデルとなった作曲家古関裕而先生の作品特集を試みた。歌詞カード等は使用せずに行ったが、歌の記憶がスムーズによみがえり、参加者皆さんが一体感を感じながら歌うことができた。「長崎を旅行した時を思い出したよ」「懐かしくて涙が出たわ」「昔の歌を歌ったら色々思い出したわ・・・」と、感想を口にされ、アンコールに歌った「高原列車は行く」はとでも盛り上がった。呼吸法や発声法、手拍子等を入れながら歌うこと、声を

出すことは、回想法にもつながり、沢山の言葉が出てくるようになった。あえて同じ曲を2～3回繰り返し歌うことで、一回では思い出せなくても、二回、三回目には、大きく口も開き、表情が豊かになっている。今年度は訪問施設も1施設のみ、訪問回数は昨年の4分の1以下に減った。令和3年2月から状況を見ながら休止としているが、一日も早い訪問サロンの再開が望まれている。

B) 心理学勉強会 (人間学) 事業 絵本研究グループ 岡山刑務所社会性涵養講座事業

①事業目的

自分の犯した罪を認める勇気と未来を変える生き方を、絵本を読み解きながら、エンカウンターをとおして、人の気づきを聴き、物事の捉え方を学び合う。

②事業内容

令和2年4月～令和3年3月を今年度講座実施期間とし、岡山刑務所の受刑者に対し、毎月2回の絵本心理講座を開催する。

③事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	講師の従事者 人数	講座の受益対象者 範囲及び人数	支出額 (千円)
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	絵本研究グループ 18期生6講座	4月13日～6月22日 10時～11時30分	岡山刑務所	4名	受刑者6名	0円
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	絵本研究グループ 19期生12講座	7月13日～12月21日 10時～11時30分	岡山刑務所	4名	受刑者8名	0円
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	絵本研究グループ 20期生6講座	1月20日～3月22日 10時～11時30分	岡山刑務所	4名	受刑者7名	0円

④事業成果

講師の問いかけに対し、受講者が今の気持ちを自己開示する事で、互いの意見を話し合い、聴き合い、尊重し合う場となっている。19期生は、初めて出会う絵本から、絵本講座に参加するのは2回目の18期生、20期生はイソップ寓話から、自立と自律、死生観、命のメッセージを深く捉えることで、これまでの自己を客観的に見つめ、罪を犯した過去の自分を認め、これからの自身の生き方について向き合い、素直に気づきを発言し、話し合えるようになった。

令和2年7月28日岡山刑務所に於いて、長年の矯正教育に携わった功績として、広島矯正管区長賞が当法人に贈られた。

C) 心理学勉強会 (人間学) 事業 コラージュ心理講座事業

①事業目的

多様な感性に触れる事で刺激され感性が磨かれ敏感になり、自己表現として「コラージュ」を学ぶ。傾聴・カウンセリングに必要な立体的な捉え方、多方向からの見方、洞察力を学ぶ。エンカウンターで進行しながら、コラージュ作成前後の気持ちの変化や気づきを深め、学び合い育ち合う場を提供する。

②事業内容

令和2年4月～令和3年3月まで。10回講座。

各回当日テーマを決め、テーマの中で今の自分に向き合いながらコラージュ作成し、仲間の中でシェアすることで、さらに深まり、見方が変わり、気づきが生まれる。コラージュ表現を言葉に置き換えて、皆に伝える、感じたことを言葉にする。仲間の中で進め方、エンカウターの仕方、深め方も併せて学び、育ち合う。エンカウターの中で、無意識を探り、自分の思いがけない気づきを自己開示しながら、コラージュ作成の前後の心の状態の変化を分かち合う。

③事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容 テーマ	実施日時	1回の 従事者人数	1回の受益対象者 範囲及び人数
(4)心理学勉強会(人間学)事業	コロナから	6月20日10時～12時	1名	5名
(4)心理学勉強会(人間学)事業	与えられた自由	7月18日10時～12時	1名	5名
(4)心理学勉強会(人間学)事業	つながり	9月19日10時～12時	1名	6名
(4)心理学勉強会(人間学)事業	音楽コラージュ	10月17日10時～12時	1名	6名
(4)心理学勉強会(人間学)事業	プラスとマイナス	11月21日10時～12時	1名	7名
(4)心理学勉強会(人間学)事業	2020年	12月19日10時～12時	1名	5名
(4)心理学勉強会(人間学)事業	音楽コラージュ	1月16日10時～12時	1名	4名
(4)心理学勉強会(人間学)事業	進む	2月20日10時～12時	1名	5名

C) 事業費合計 ￥48,000

④事業成果

コロナ禍の中、日常の変化や感情の変化に向き合いながら、コラージュを作成することで、「自由」の意味や在り方を再確認し、この時だからこそその「つながり」「つながっている自分に感謝」しながら、プラスとマイナスの意味を考えることが出来た。映画音楽や話題の音楽に触れながら、また、2020年を振り返ることで、囚われない表現、個性的な表現、自由な表現を認め合い、育ち合える仲間の存在は大きい。それでも私たちは、「進む」ことをイメージしながら、自分を自由に表現し、表現からの気づきを言葉にしていくことが広く、深くなり、これからの自分の道筋と確認を行うことが出来た。

D) 心理学勉強会(人間学)事業

令和2年度赤い羽根ボランティア団体・NPO活動支援事業

「自分生き生き！内観リカバリー研究会」

①事業目的

最近、統合失調症の当事者や支援者の中で、リカバリー(recovery)という言葉が盛んに使われるようになってきているが、リカバリーとは、「障がいを抱えていたとし

でも、すべての人は、それぞれ、自分が求める生き方を主体的に追求することができ、それを支援することが、支援者、協力者、関係者に求められていることである。現在の一方的な「支援」というスタンスでは良い関係性も築けない。本人のストレングスを活かし、セルフケアを身に着け、自らがリカバリーしていく中で、必要とされるのはコプロダクトのような協働作業であり、基盤になるのは内観的に自己を観直すことである。自分に対する気づき、他者に対する気づきを通して、新たなる自分を再構築、リカバリーしていく実践的な場が必要である。本人が協働学習の場において、様々な人と一緒になって体験、実践し、ともに学ぶ経験ができる場を提供することが求められている。ウィズコロナの時代に、皆が支援される、支援を待つ者としてではなく、新たな自己を創造、再構築できる時代として、そのリカバリーのプロセスを、個人だけでなく地域のネットワークで活かし、コロナ禍社会をも変容、イノベーションさせることが期待される。ここに病を抱えた人、コロナうつ、困難を経験した人が単に福祉の受け手としてではなく、人や地域、社会を活性化させ、新たなる時代を共に創る人材となることを目的とする。誰にでもリカバリーは可能である。そしてこの困難な中で地域社会に一つでも新たな資源を創造するために、様々な立場の人が集い、理解し、伝えあうコプロダクションモデルの実践者となる人材の育成を目指す。

②事業内容

主な対象者：うつ症状、精神障がい、発達障がい等を抱えている人及び、その家族、支援者、協力者

対象人数：20名（新型コロナウイルスの感染拡大状況を見て調整）

実施場所：きらめきプラザ会議室

実施スケジュール：

【年間10回「自分生き活き！内観リカバリー研究会基礎講座】内観的な心理学を基に、自分が生き活きと生ききる、周りも活きる学びの場づくりを提供。「自分生き活き！内観リカバリー研究会基礎講座」を開催し、10回の内観を取り入れた日常の心理学講座を開催する。

【年1回「内観リカバリー講演&エンカウンター】講演会と体験的ワークショップを開催。講演会は、慈圭病院理事長、いのちの電話理事長、日本内観学会会長でもある堀井医師より内観を通して人が生きることへの繋がりについて講演いただき、リカバリーのためのワークショップとして、内観エンカウンター、内観実践の分科会を開催する。自分に対する気づき、他者に対する気づきを通して、新たなる自分を再構築、リカバリーしていく実践的な場とする。

③事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	1回の実施者人数	1回の受益対象者範囲及び人数
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	内観的に自己を観るとは？ (プレ講座)/打ち合わせ	4月25日 10時～15時	きらめきプラザ 小会議室1	2名	10名

(4)心理学勉強会 (人間学)事業	いろんな人がいてもいい (プレ講座)/打ち合わせ	5月23日 10時~15時	きらめきプラザ 大会議室3	2名	18名
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	囚われと内観(プレ講座)/ 打ち合わせ	6月27日 10時~15時	きらめきプラザ 研修会議室2	2名	18名
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	受け止め方と内観(プレ講座)/ 打ち合わせ	8月22日 10時~15時	きらめきプラザ 小会議室1	2名	10名
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	打ち合わせ (9月27日講演内容・準備)	9月15日 13時~17時	きらめきプラザ 小会議室1	2名	5名
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	青年期の見直しと内観/ 打ち合わせ	9月26日 10時~15時	きらめきプラザ 小会議室1	2名	10名
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	内観リカバリー講演&内観エン カウンター~人間関係を深め広 げる手法として~・講演「内観・・・ よかった探しと五つの“あ”療法」(堀 井医師)・講話「一編の童話から・・・ 大森鍾一的こころ話」(大森医師)・ 内観エンカウンター&内観実践	9月27日 10時~15時	きらめきプラザ 大会議室全室	6名	28名
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	打ち合わせ	10月13日 13時~17時	きらめきプラザ 小会議室1	2名	5名
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	親子関係の見直しと内観/ 内観的自己を観ることは?	10月24日 10時~15時	きらめきプラザ 大会議室3	11名	9名
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	打ち合わせ	11月17日 13時~17時	きらめきプラザ 小会議室1	2名	5名
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	あるがままの自分と内観/ いろんな人がいてもいい	11月28日 10時~15時	きらめきプラザ 大会議室1	11名	9名
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	打ち合わせ	12月15日 13時~17時	きらめきプラザ 小会議室1	2名	5名
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	気になる人を客観的に見直す/ 囚われと内観	12月26日 10時~15時	きらめきプラザ 大会議室1	11名	9名
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	家族関係と内観/ 受け止めと内観	1月23日 10時~15時	きらめきプラザ 大会議室2	11名	9名
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	ライフラインと内観/ 青年期の見直しと内観	2月27日 10時~15時	きらめきプラザ 大会議室	11名	9名
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	振り返り	3月16日 13時~17時	きらめきプラザ 小会議室1	2名	6名

D) 事業費合計 ￥ 314,953

④事業成果

当初の事業案では、5月から講座を開始し、1か月に1回の講座を行う計画であ

ったが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、4月から8月までの期間は、打ち合わせを兼ね、担当講師を中心としたプレ講座（デモンストレーション講座）を5回行い、周知及び研鑽の場とした。10月以降、一般に向けた講座として、1日に午前の部、午後の部、2回の講座を行う方法で開催した。

貸室の換気、消毒、マスクの着用等を徹底し、参加者が十分な間隔を取って受講できるよう、定員人数を考慮した部屋の変更等を行った。また、コロナ禍で、職場や家庭の事情で参加が難しいという意見やキャンセルもあった一方、コロナ関連のニュースに振り回され、一人家に居ると、不安と疑心暗鬼で、うつ状態となった体験を話して下さる方や、児童支援員や福祉職員として、この時代にどう対応していくか、という課題をもって、講座に参加して下さる方もあった。講座修了時には、参加者、担当講師ともに、この現状を「禍」から「共生」へと捉えることができるようになり、「今、私にできること」として、今後の活動に繋げることができた。

9月に開催した、「内観リカバリー講演&エンカウンター」では、長年精神医療に係わられてきた、堀井医師、大森医師から、この時代だからこそその「内観」の必要性和有効性について、わかりやすいお話しをいただいた。そして何より、各々が感じたこと、気づいたことを、自由に声に出せる場、互いの意見に違いがあっても、認め合える場に参加すること、参加出来たことで、コロナ禍の日常であったとしても、マイナスばかりではない変化が出てきたとの感想もあった。

E) 親子等体験学習事業

公益財団法人 福武教育文化振興財団 令和2年度教育助成事業
理科大好き養成講座事業

①事業目的

「理科大好き養成講座」は平成25年から開設し、岡山県内の小学生の理科学力、表現力及びプレゼンテーション力の向上を目的として、小学校などに出向いて出前授業（科学教室）を行っている。児童館などでの科学教室は、子どもと保護者が一緒に理科の学習が楽しめるように「親子教室」を取り入れ、親子が理科を共に学び理科に関する共通の話をすることで、子どもの学習意欲が起きることを目的とした。授業では、画像・音声・動画等で理解力を高め、簡単な実習を取り入れることで、理科に対する、興味、関心、考える力を養うように工夫した。

不登校の子ども達、重度の障がいを持った子ども達、誰もが理科の学習が楽しめるような科学教室を目指す。

②事業内容

県内の小学校、児童館、公民館、サイピアなどに、元岡山大学教授等による講師・TAが出向き、出前授業（科学教室）を42回行った。また、岡山県生涯学習センター主催の「科学キッズフェスティバル in 京山祭」に出展した。

③事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	1回の応募者人数	1回の受益対象者範囲及び人数
親子等体験学習事業	振り子の科学	中止	未来館サイビア	1名	(コロナウイルス感染拡大防止)
親子等体験学習事業	自然が見せる数字	中止	未来館サイビア	1名	(コロナウイルス感染拡大防止)
親子等体験学習事業	からだのしくみ	6月13日	プレスクールかみごおり	1名	4, 5歳児 30名
親子等体験学習事業	ロボットがやってくる	6月13日	未来館サイビア	2名	親子
親子等体験学習事業	雲を作ってみよう	7月11日	未来館サイビア	4名	親子
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	7月11日	旭東児童センター	2名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	セミの歌と生活	7月15日	吉備高原小学校	2名	小学2年生9名
親子等体験学習事業	セミの歌と暮らし	7月22日	大和小学校	3名	小学2年生16名
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	7月25日	旭東児童センター	2名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	空気(火・雲・風船)	7月31日	プレスクールかみごおり	1名	4, 5歳児 30名
親子等体験学習事業	わくわく科学実験	8月1日	吉備青少年自然の家	2名	親子10名
親子等体験学習事業	セミの歌と暮らし	8月1日	西ふれあい児童館	2名	小学生16名
親子等体験学習事業	ロボットがやってくる	8月4日	甲浦小学校	4名	小学生20名
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	8月8日	旭東児童センター	2名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	セミの歌と暮らし	8月8日	未来館サイビア	4名	親子
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	8月22日	旭東児童センター	2名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	セミの歌と暮らし	8月25日	稲倉小学校	2名	小学3年生10名
親子等体験学習事業	地球の大きさ・重さ	9月5日	未来館サイビア	1名	親子
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	9月12日	旭東児童センター	2名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	9月26日	旭東児童センター	2名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	プログラミング入門	10月3日	浅口市教育委員会	1名	
親子等体験学習事業	コオロギの生態	10月7日	吉備高原小学校	2名	小学生3年生9名
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	10月10日	旭東児童センター	2名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	コオロギの歌と生活	10月10日	未来館サイビア	3名	親子
親子等体験学習事業	コオロギの歌と生活	10月13日	稲倉小学校	2名	小学2年生10名
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	10月24日	旭東児童センター	2名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	プログラミング学習	10月27日	吉備高原小学校	3名	小学6年生9名
親子等体験学習事業	科学技術と暮らしの変化	10月27日	上郡高齢者大学	2名	
親子等体験学習事業	ゲームを作る	11月7日	未来館サイビア	1名	親子
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	11月14日	旭東児童センター	2名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	11月28日	旭東児童センター	1名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	ろうそくの科学	12月12日	未来館サイビア	1名	親子
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	12月12日	旭東児童センター	1名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	科学キッズ	12月13日	生涯学習センター	4名	小学生
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	12月26日	旭東児童センター	1名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	電気と磁気の科学	1月9日	未来館サイビア	1名	親子

親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	1月11日	旭東児童センター	1名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	1月25日	旭東児童センター	1名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	宇宙旅行	1月25日	プレスクールかみごおり	2名	4, 5歳児 30名
親子等体験学習事業	振り子の科学	2月2日	吉備高原小学校	3名	小学5年生12名
親子等体験学習事業	プログラミング体験	2月6日	旭東児童センター	1名	小・中学生
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	2月8日	旭東児童センター	1名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	飛行機の仕組み	2月13日	未来館サイピア	1名	親子
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	2月22日	旭東児童センター	1名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	宇宙旅行に出発する	3月13日	未来館サイピア	1名	親子
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	3月14日	旭東児童センター	1名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	ロボット・プログラミング	3月28日	旭東児童センター	1名	小・中学生20名

E) 事業費合計 ￥ 142,447

④事業成果と効果

小学校では、子ども達が分かりやすく学べるように、画像・音声・動画・簡単な実験などを取り入れて行い、その成果として、子ども達は理科の学習に興味を持ち、理解する力を身につけたことが感じられた。また、子ども達が積極的に質問し、考えを発表できるように授業を行ったことで、まとめる力、プレゼンテーション力の向上が図られた。サイピア・児童館等では、親子が一緒に学ぶことで絆ができ、子どもの学習意欲の向上と積極性が図られた。プログラミング学習では、不登校の子ども達の興味と学習意欲を強く感じる事が出来た。

F) 親子等体験学習事業

独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金

子どもの体験活動助成事業「個性交流みんながリーダーだ!!」事業

①事業目的

発達障がい児を含む子どもたちが、ノーマライゼーションという理念の元で交流し、お互いの違いを認め合い、日頃気づかない自分の長所発見し、伸ばすことを目的とする。一泊研修という普段とは違う環境の中で、参加する子ども達みんなが、様々な場面でリーダーになり、自分に自信を持つことの大切さ、自分にも出来たという達成感を感じることで、それを自分の成長につなげる。

②事業内容

午前は「自己開示力を育てる工作アートとエンカウンター（自己表現）」で、子ども達がそれぞれ自由に布製バックに布用クレヨンで絵を描き、作った作品をみんなで見せ合い、自分が工夫した点やこだわりの部分を発表した。午後から、「子どもわくわく科学講座」「個性を發揮！想像力を高めるカプラ!」「自己肯定感を育てるリーダー体験!」として、夕べの集いで、当日の活動内容を発表した。

2日目は、自然の中で自由に親子で遊び、異年齢の子とも交流し、退所前には、2日間の振り返りを親子で発表した。

③事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	1回の従事者人数	1回の受益対象者範囲及び人数
親子等体験 学習事業	個性交流みんながリーダーだ！！	8月1日 午前9時～ 8月2日 午後14時	国立吉備青少年自然の家	9名	親子のべ29名

F) 事業費合計 366,835

④事業成果

初めての状況下、新型コロナウイルス感染拡大予防対策を十分に図った上での、親子、家族での参加を通じて、初対面の参加者、また異年齢の参加者同士が関わりを十分持つことが出来た。急な参加見合わせ、キャンセルも多かったが、少人数であっても参加者一人一人が、プログラムの中で、様々な場面で関わり合い、個性があってもみんなと共に、普段味わうことのできない緊張感の中で、自分にも出来るという自信と達成感を持つことが出来た。大人たちもゆったりとした気持ちを持つことで、日常生活では目にする事の少ない、子ども達の自立心や助け合う姿を見ることができ、とても有意義な時間を参加者全員で分かち合うことが出来た。

G) 心理学勉強会（人間学）事業

2020年度公益信託おかやま心の福祉基金助成事業

①事業目的

全ての世代に対し、子育て、ひきこもり、高齢者、精神障がい者、結婚等、様々な悩みや不安を分かち合いながら、心を豊かにする内観、心理学講座などをおとし、健全な人間関係の育成、支援、理解と実践を学び合う場づくりを行う。

②事業内容

現在、精神障がいを抱える会員から、自分が、マザーリーフで学んできたこと、活動してきたことを当事者の仲間にも伝えたいと提案があった。今までの「当事者」「支援者」という立場や区切りを越えて、一つのグループとして、各々の自己実現を目指し、支え合える、より添える同伴者としてのボランティア支援員づくりにつなげていきたい。毎月2回のエンカウンター（分かち合いの場）を開催し、精神障がい者及び、その家族、支援者のためにも、エンカウンターをとおした学び合いの会を開催し、当事者であっても、ボランティアや支援者、ピサポーターとして活動できることを目指す。

③事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	1回の従事者人数	1回の受益対象者範囲及び人数
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	内観心理講座(エンカウンター) カウンセリング	4月10日から2月 14日まで(20回)	きらめきプラザ2階 会議室	1名	5名

④事業成果

互いに個性があっても、理解し合える場が地域にあることで安心できた。今の時代において、人との交流が必要であることを、コロナ禍の中、切に感じた。人とつながる大切さを感じ、地域社会に一つでも必要な資源を創造するために、様々な立場の人が集い、コプロダクションの考えを実践する場でありたい。

Ⅲ. 会議の開催に関する事項

1. 総会

開催日時及び場所

令和3年4月11日（日）午前10時～12時 きらめきプラザ2階 会議室

議題 開会

総司会： 持川 直子

理事長挨拶

理事長： 藤 惠子

議長・書記選出

議長： 湯浅 啓子

書記： 高原 早苗

議事 令和2年度事業報告

事務局長： 光岡 亜希子

令和2年度理事会報告

事務局長： 光岡 亜希子

令和2年度会計報告

会計： 光岡 亜希子

監査： 福田 利恵

令和3年度事業計画（案）

理事長： 藤 惠子

令和3年度収支予算（案）

会計： 光岡 亜希子

その他 質疑応答

議長・書記解任

閉会

2. 理事会

令和2年度の理事会は、計11回開催され、きらめきプラザ（岡山市北区南方2丁目13-1）において5回（6月・7月・9月・10月・3月）、事務所（岡山市東区草ヶ部1034番地80）において6回（5月・8月・11月・12月・1月・2月）開催された。

令和2年度 活動計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人マザーリーフ

(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		191,000
2. 受取参加費		163,000
3. 受取寄附金		47,447
4. 受取謝礼		18,000
5. 受取助成金等		
受取民間助成金		
赤い羽根ボランティア団体・NPO活動支援事業助成	210,000	
公益信託おかやま心の福祉基金助成金	50,000	
公益財団法人福武教育文化振興財団助成	140,000	
子どもゆめ基金助成	255,059	655,059
6. その他収益		
受取利息	3	
雑収益	15,000	15,003
経常収益計		1,089,509
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
消耗品費	186,619	
通信運搬費	15,880	
保険料	4,898	
役務費	0	
賃借料	86,690	
謝礼	471,000	
図書資料費	0	
印刷費	44,520	
会議費	6,938	
旅費交通費	88,100	
雑費	46,510	
その他経費計	951,155	951,155
事業費計		951,155
2. 管理費		
(1) 人件費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
消耗品費	35,291	
通信運搬費	121,508	
保険料	9,800	
賃借料	2,740	
会議費	6,177	
光熱費	120,000	
雑費	10,000	
その他経費計	305,516	305,516
管理費計		305,516
経常費用計		1,256,671
当期正味財産増減額		▲167,162
前期繰越正味財産額		427,079
次期繰越正味財産額		259,917

令和2年度 貸借対照表

令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人マザーリーフ

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
流動資産合計	259,917	
資産合計		259,917
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計	0	
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	427,079	
当期正味財産増減額	▲167,162	
正味財産合計		259,917
負債及び正味財産合計		259,917

令和2年度 活動計算書の注記

令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人マザーリーフ

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2011年11月20日 NPO法人会計基準協議会）によっています。

2 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	A) 施設訪問サロン事業費	C) コーラージュ心 理講座事業費	D) 赤い羽根N PO活動支援事 業	E) 理科大好き美 成講座事業費	F) 個性交流みん ながリーダーだ! 事業費	G) おかやま心 の福祉基金助成 事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益									
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	191,000	191,000
2. 受取参加費	0	48,000	73,000	0	42,000	0	163,000	0	163,000
3. 受取寄付金	0	0	0	2,447	0	0	2,447	45,000	47,447
4. 受取謝礼	18,000	0	0	0	0	0	18,000	0	18,000
5. 受取助成金	0	0	210,000	140,000	255,059	50,000	655,059	0	655,059
6. 事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 未収金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. その他収益	0	0	0	0	0	0	0	15,003	15,003
経常収益計	18,000	48,000	283,000	142,447	297,059	50,000	838,506	251,003	1,089,509
II 経常費用									
(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費									
消耗品費	0	7,882	6,073	96,117	63,747	12,800	186,619	35,291	221,910
通信運搬費	0	0	0	0	15,880	0	15,880	121,508	137,388
保険料	0	0	0	0	4,898	0	4,898	9,800	14,698
役員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	4,380	37,670	0	6,000	38,640	86,690	2,740	89,430
謝礼	0	21,000	260,000	0	190,000	0	471,000	0	471,000
図書資料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷費	0	0	9,010	22,330	9,700	3,480	44,520	0	44,520
会議費	0	4,738	2,200	0	0	0	6,938	6,177	13,115
交通費	18,000	10,000	0	24,000	30,100	6,000	88,100	0	88,100
光熱費	0	0	0	0	0	0	0	120,000	120,000
雑費	0	0	0	0	46,510	0	46,510	10,000	56,510
その他経費計	18,000	48,000	314,953	142,447	366,835	60,920	951,155	305,516	1,256,671
経常費用計	18,000	48,000	314,953	142,447	366,835	60,920	951,155	305,516	1,256,671
当期経常増減額	0	0	▲31,953	0	▲69,776	▲10,920	▲112,649	▲54,513	▲167,162

令和2年度 財産目録

令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人マザーリーフ

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
ゆうちょ銀行普通預金	205,896	
手元現金	54,021	
流動資産合計		259,917
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品		
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		259,917
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計	0	0
2. 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		0
正味財産		259,917

前事業年度の年間役員名簿

(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

特定非営利活動法人マザーリーフ

No.	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
1	理事長	藤 慧子		自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	報酬無し
2	副理事長	湯浅 啓子		自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	報酬無し
3	副理事長	上川 悦子		自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	報酬無し
4	理事	笹山 理理		自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	報酬無し
5	理事	早野 美代子		自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	報酬無し
6	理事	持川 直子		自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	報酬無し
7	理事	別所 恭子		自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	報酬無し
8	理事	江川 郁恵		自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	報酬無し
9	理事	石井 教子		自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	報酬無し
10	理事	鷺原 草苗		自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	報酬無し
11	理事	森 寛子		自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	報酬無し
12	理事	土井 典子		自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	報酬無し
13	理事	米下 由加		自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	報酬無し
14	理事	髙岡 亜希子		自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	報酬無し
15	監事	福田 利恵		自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	報酬無し